

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年1月10日

協議会名: 諏訪市地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金

| ①補助対象事業者等   | ②事業概要  | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況  | ④事業実施の適切性                   | ⑤目標・効果達成状況   | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)  |
|---|--|--|-----------------------------|--|--|
| ■事業者名<br>・アルピコ交通株式会社<br><br>■運行系統名<br>・すわライナー右回り線<br>・西山線                         | ・すわライナー右回り線<br>(※原則毎日運行)<br>日赤病院⇒上諏訪駅(霧ヶ峰口)・上社⇒上諏訪駅(諏訪湖口)<br><br>・西山線(火・金運行)<br>みどり区⇒大熊⇒みどり区                   | ■平成29年10月ダイヤ路線改正により利用者より寄せられた意見等を反映して、平成30年10月に軽微なダイヤ路線の修正を行い新路線で運行を行った。         | A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された | ■平成29年2月に当市で策定した「第五次諏訪市総合計画後期基本計画」に記載されている、対象路線を含むかりんちゃんバス全体の目標値である362日運行、年間利用者数84,165人は達成することが出来たが、1便当たりの利用者目標数値(7.5人/便)は達成することが出来なかった。 | ■目標値の維持及び向上に向け、市内で運行する公共交通全体の利用促進を図るため、引き続き、市民に対しての周知活動やイベント等でのモビリティマネジメント事業を継続的に実施する。 |
| ■事業者名<br>・諏訪交通株式会社<br><br>■運行系統名<br>・東山線反時計回り<br>・東山線時計回り                         | ・東山線反時計回り<br>(※原則毎日運行)<br>上諏訪駅(諏訪湖口)⇒日赤病院⇒上諏訪駅(諏訪湖口)<br><br>・東山線時計回り<br>(※原則毎日運行)<br>上諏訪駅(諏訪湖口)⇒茶臼山⇒上諏訪駅(諏訪湖口) | ■市内を運行する公共交通全体の利用促進を図るため、市民に対しての周知活動やイベント等でのモビリティマネジメントを行った。<br>・「広報すわ」を活用した利用案内 |                             | B ■かりんちゃんバス7系統利用者実績(補助対象期間中)<br>362日運行、13,356便、利用者数94,082人、7.0人/便  | ■次年度は、小中学生を対象にした体験乗車企画に加え、高校生・大学生のバス利用促進に向けたアイデアコンテストを実施予定である。                         |
| ■事業者名<br>・諏訪交通株式会社<br>・アルピコタクシー株式会社<br>・第一交通株式会社<br><br>■運行系統名<br>・かりんちゃん子バス大和四賀線 | ・かりんちゃん子バス大和四賀線<br>(※原則毎日運行)<br>聖母寮前⇒上諏訪駅(霧ヶ峰口)⇒神戸公民館前   | ・高島城祭においてバスを展示<br>・夏休み小中学生を対象とした無料体験乗車企画   |                             | ■免許返納者に回数券を配布しているが、利用につながらなかったものと考える。  | ■市高齢者福祉課や社会福祉協議会と連携して、高齢者を対象にした体験乗車企画を計画し、バスの利用促進を図る。                                  |
|   | (※)運休日<br>・諏訪祭湖上火花大会当日<br>・全国新作花火競技大会当日<br>・諏訪湖マラソン大会当日  |  |                             |  |  |

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和2年1月10日

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| 協議会名:                       | 諏訪市地域公共交通協議会  |
| 評価対象事業名:                    | 地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金   |
| 地域の交通の目指す姿<br>(事業実施の目的・必要性) | <p>諏訪市内の路線バスは、国道20号線に補助対象地域幹線系統に位置づけられる本線(岡谷・茅野線)があり、市内を循環するコミュニティバスとして「かりんちゃんバス」とアルピコ交通株式会社自主路線の「かりんちゃんライナー」、また諏訪湖周には湖周3市町で共同運行する「スワンバス」が定時定路線として存在し、平坦地の公共交通をカバーしている。また、山間地のバス路線廃止に伴う公共交通空白地域をさけるため、乗合タクシーのデマンド交通を実施し、平坦地とのアクセスを考慮することで、利便性向上を図っている。</p> <p>一方で、大和・四賀地区の旧甲州街道沿線地区は、道路が狭く通常のバスの乗り入れが困難であり、市の公共政策において大きな懸念となっていた。また、上諏訪地区の傾斜地(東山方面)や、湖南・豊田・中洲各地区(西山方面)では、高齢化等による交通弱者の増加により、住民の移動手段の確保が喫緊の課題となっている。</p> <p>更なる地域間連携の強化や交通弱者に対する利便性の向上を図るため、本線(岡谷・茅野線)へ接続する地域内系統として、「かりんちゃんバス すわライナー・西山線・東山線」「かりんちゃん子バス大和四賀線」を確保、維持する必要がある。</p> |

